

●●● 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主 確定日	3月31日、9月30日 その他必要あるときは あらかじめ公告して定めた日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人及び 特別口座管理機関 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 電話 0120-232-711(フリーダイヤル) 東京証券取引所 札幌証券取引所 電子公告により行う (http://www.hokkanholdings.co.jp/)に掲載 いたします。ただし、事故その他やむを得ない 事由により電子公告をすることができないと きは、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所 公告方法	

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

●●● 株主優待のお知らせ

毎年3月31日(基準日)現在の株主名簿に記載された株主様に対し、当社グループの容器に入った缶詰を年1回、以下のとおり贈呈いたします。

贈呈基準

- 1,000株以上 5,000株未満
—— 2,000円相当の缶詰詰め合わせ
- 5,000株以上 10,000株未満
—— 3,000円相当の缶詰詰め合わせ
- 10,000株以上
—— 5,000円相当の缶詰詰め合わせ

ホッカホールディングス株式会社



株主の皆様へ

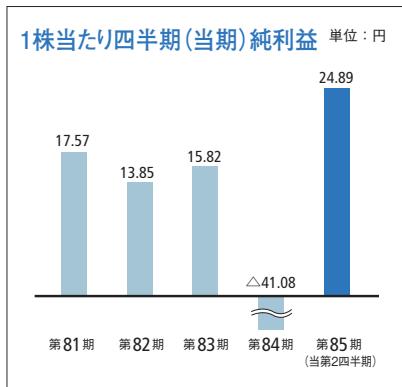
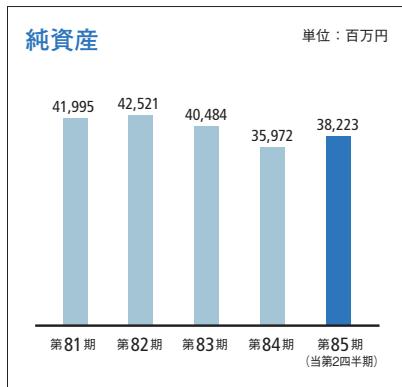
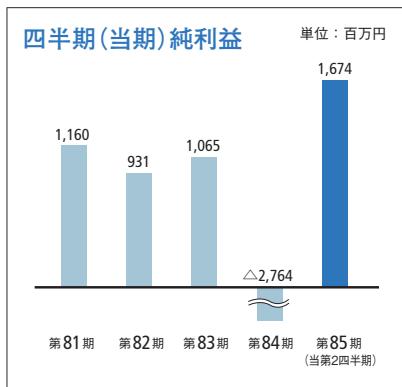
HOKKAN REPORT

第85期上半期 株主通信 Vol.8
2009年4月1日～2009年9月30日

 **ホッカホールディングス株式会社**
〒100-0005 東京都千代田区丸の内二丁目2番2号
TEL03-3213-5111(代表)
URL: <http://www.hokkanholdings.co.jp/>



この冊子は環境への配慮のため、FSC森林認証紙と大豆油インキを使用しています。



項目	第81期	第82期	第83期	第84期	第85期(当第2四半期)
売上高 (単位:百万円)	160,067	160,892	168,757	165,127	79,185
経常利益 (単位:百万円)	1,831	2,503	2,893	1,532	2,578
四半期(当期)純利益(単位:百万円)	1,160	931	1,065	△2,764	1,674
総資産 (単位:百万円)	155,704	146,445	129,511	120,663	124,773
純資産 (単位:百万円)	41,995	42,521	40,484	35,972	38,223
1株当たり四半期(当期)純利益(単位:円)	17.57	13.85	15.82	△41.08	24.89

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに、第85期上半期(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)の営業の概況ならびに計算書類について、ご報告申し上げます。

当上半期の業績および営業概況

当上半期におけるわが国経済は、公共投資が増加を続けるなか、輸出など一部に底打ちの兆しが見えてきたものの、依然として雇用・所得環境が厳しさを増すなかで個人消費の低迷が続いており、国内景気は総じて先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のなかで、当企業集団は業績の向上を目指し、各分野で努力してまいりました結果、当上半期の連結売上高は、内部売上を消去すると、791億85百万円(前年同期比11.6%減)となり、経常利益は25億78百万円(前年同期比13.1%増)、中間純利益は16億74百万円(前年同期比48.9%増)を計上いたしました。

当上半期の清涼飲料業界における状況につきましては、昨年からの景気の悪化による個人消費の落込みや、梅雨明け後の天候不順の影響を受けたため、業界全体では前年を下回る状況で推移いたしました。カテゴリー別では、炭酸飲料は前年に引き続き堅調でありましたが、コーヒーやミネラルウォーター、茶系飲料など、炭酸飲料以外の品目については前年を下回る結



代表取締役社長 永井 勝己

果となっております。

食品缶詰業界につきましては、水産缶詰が主力のツナ製品において、原料高騰の影響や海外生産へのシフトなどにより減産となりましたものの、サンマやサバなどの青物製品につきましては、漁獲高にも恵まれ増加となりましたことから、水産缶詰全体ではほぼ前年並みの結果となりました。

しかしながら、農産缶詰につきましては、スイートコーンの作柄悪化による減産の影響を受けたため、農産缶詰全体では前年を下回る結果となり、食品缶詰業界全体としては前年を若干下回る実績となりました。



事業別の概況

●容器事業

飲料用スチール空缶は、コーヒーにおいて、業界全体では低調に推移するなかで、当社グループでは積極的な営業活動を進めてまいりました結果、全体としては前年を若干上回る販売となりました。

食品缶詰用空缶につきましては、主要販売品目のうち、水産缶詰はサンマやサバなどの青物製品において、業界動向と同様、順調な販売となりましたが、鮭やカニなどの高価格な品目が伸び悩みましたため、水産缶詰全体では前年を下回る販売となりました。また、農産缶詰におきましても主力のスイートコーン缶が天候不良により減産となった影響を受け、農産缶詰全体においても前年割れの実績となり、食品缶詰用空缶全体では前年を下回る販売となりました。

プラスチック製品では、飲料用ペットボトルにおきまして、大型ボトルが増加となりましたものの、280ml・500ml主体の小型ボトルが、お客様によるボトル



成形から充填までの一貫生産の拡大の影響を受けたため減少となり、ボトル全体では前年を下回る販売となりました。

また、無菌充填用プリフォームにつきましては、積極的な営業活動の結果、新規受注を獲得するなど前年を大きく上回る販売となりました。

食品用ペットボトルにおきましては、醤油および食用油分野において増加したことが寄与し、食品用ペットボトル全体では前年を上回る販売となりました。

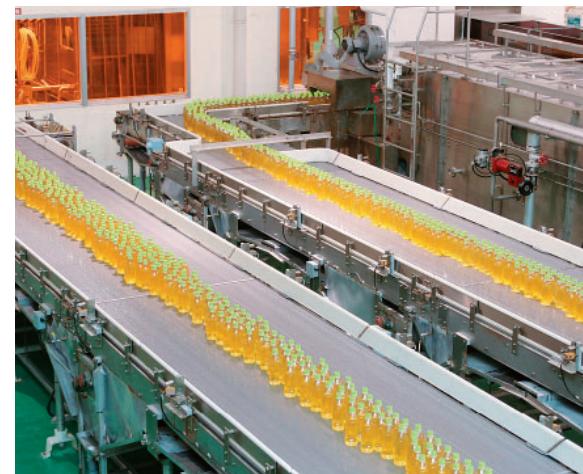
一般成形品につきましては、洗剤用ボトルなどの販売が減少しましたが、主力の農薬園芸製品や化粧品関連製品の販売が増加したことにより、全体としては前年を若干上回る販売となりました。

エアゾール用空缶につきましては、殺虫剤分野において比較的好調に推移いたしましたものの、景気低迷の影響を受け、自動車関連品、工業用品等が大きく前年を下回りましたため、エアゾール用空缶全体では前年割れの結果となりました。また、美術缶につきましても、贈答用品の低迷が続いており、前年を下回る販売となりました。

以上の結果、容器事業全体の売上高は244億11百万円(前年同期比3.1%減)の結果となりました。

●充填事業

ペットボトル製品につきましては、小型ペットボトル分野におきまして、昨年に引き続き容器の多様化が進むなか、茶系飲料の受注増加に向けて積極的な営業



活動をおこなってまいりましたが、お客様による自社生産比率の上昇などにより前年を下回る販売となりました。また、大型ペットボトル分野では、夏場の天候不順や景気低迷の影響を受け、スポーツ飲料などが減少となり前年を下回る販売となりました。その結果、ペットボトル製品全体では前年を下回る販売となりました。缶製品につきましては、炭酸やコーヒーを中心に減少となり、缶製品全体では前年を下回る販売となりました。

以上の結果、充填事業全体の売上高は、542億78百万円(前年同期比14.0%減)の結果となりました。

●機械製作事業

機械製作部門につきましては、主要分野であります金型製作事業において、プラスチックボトル用ブロー

金型や製缶用金型などを受注してまいりましたが、景気低迷によるお客様の設備計画見直しなどの影響を受けたため、機械製作部門全体としては前年を下回る結果となりました。

一方、エンジニアリング部門におきましては、グループ内の大型案件を除いては特段の大型受注がなく前年並みの実績となりました。

以上の結果、機械製作事業全体の売上高は、4億96百万円(前年同期比61.6%減)の結果となりました。

●下期へ向けて

下期の景気の動向につきましては、製造業において一部に底打ちの兆しが見られますものの、依然として企業収益の厳しさは残り、また、雇用・所得環境が厳しさを増すなかで不透明な状況が続くものと思われま

す。このような状況のなかで、当企業集団は「グループシナジーの創出」を大胆な発想でさらに進化させ、メーカーの継続的なテーマである「物づくり力の強化」をさらに進めてまいります。

なお、通期の連結業績は売上高1,530億円、経常利益25億円、当期純利益10億円を見込んでおります。

以上ご報告のとおりでございますので、中間配当金につきましては、1株につき3円75銭とし、平成21年12月10日にお支払いすることといたしました。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。



ホッカホールディングスは グループ事業会社全体の力を統合し、 さらに高いレベルの「物づくり力」を追求します。

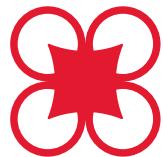
当社は持株会社として、各事業を強化するとともに、グループ企業とのアライアンスの発展を図ってまいります。そして、“最大より最高”をモットーに、品質と価格の両面を併せ持つ「物づくり力」を高めてまいります。



北海製罐や日本キャンパックで使用する超精密度の金型から製造機械、総合一般の製造ラインまで提供する機械メーカーです。

オーエスマシナリー株式会社

「オーエスプレジションオレンジ」は、超精密度を追求する同社の各種金型と各種製造機械の安全性を表しています。



HOKKAN HOLDINGS

容器製造／販売



HOKKAI CAN

食品用、飲料用などの空缶、ペットボトルなどのプラスチック容器の開発、生産、販売など幅広くおこなっています。

北海製罐株式会社

昭和製器株式会社

日東製器株式会社

東都成型株式会社

「ホッカエバークリーン」は、同社のルーツである北海道の大地を象徴する緑、永遠の若さ、生命力を表しています。



大手ブランドの飲料を空缶やペットボトルに充填する受託充填企業です。調合から物流までを請け負う総合力を持っています。

株式会社日本キャンパック

株式会社西日本キャンパック

「キャンバックアクアブルー」は、良質の水に恵まれた工場を持つ同社のメリットから、品質と潤いを表しています。

株式会社日本キャンパック

国内トップクラスのコントラクトパッカーとして、
高品質・高能率・低コストを実現し、業界をリードしています。

株式会社日本キャンパックは、コーヒーをはじめ、果汁飲料、お茶など各種飲料の調合から充填、包装、物流までを一貫しておこなう国内トップクラスの受託充填企業(コントラクトパッカー)です。創業以来、最新鋭の機器を積極的に導入し、缶やペットボトルなど、さまざまな素材の容器・サイズに対応できるよう生産ラインを拡充。ブランドオーナー様のスペックに正確な製品を製造するため、風味・色合い、成分などといった品質管理ならびに衛生面の管理を徹底し、高い評価を得ています。

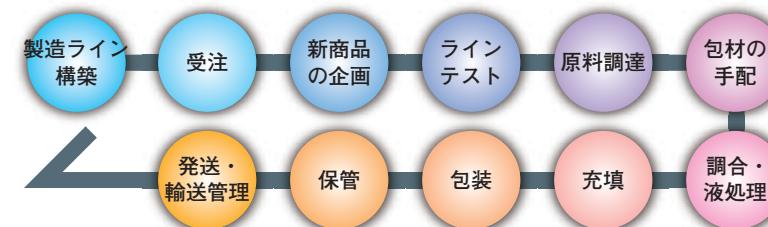


商品の開発から調合、充填、包装、発送まで対応する、
トータルパッケージングシステムが高効率・低コストを実現します。

現在、国内の飲料市場は成熟しつつあり、急激な需要の伸びは期待できませんが、業界内における競争はますます激しさが増しています。そのような状況において、ビジネスを有利に展開しシェアを拡大するには、魅力的な商品をいかに早く市場に投入し、かつそのトータルコストをいかに抑えるかが鍵といえます。株式会社日本キャンパックでは、原材料・包材の手配から商品の開発、ラインテスト、生産(調合・充填)、包装、発送までを一貫して行うトータルパッケージングシステムを業界に先駆けて確立。高品質はもちろん、高能率・低コストを実現するとともに、大消費地である首都圏に至近という物流面の優位さにより、ブランドオーナー様から高い評価をいただいています。



トータルパッケージングシステムフローチャート





四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 2009年9月30日現在	前期 2009年3月31日現在	科目	当第2四半期 2009年9月30日現在	前期 2009年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	47,608	45,328	流動負債	66,490	61,487
現金及び預金	3,274	2,791	買掛金	28,622	28,481
受取手形及び売掛金	32,321	29,989	短期借入金	33,198	28,785
たな卸資産	8,147	8,624	賞与引当金	685	674
繰延税金資産	850	740	その他	3,983	3,546
その他	3,087	3,252	固定負債	20,059	23,204
貸倒引当金	△73	△69	長期借入金	16,394	19,479
固定資産	77,164	75,335	繰延税金負債	24	20
有形固定資産	60,276	59,386	退職給付引当金	3,052	3,088
建物及び構築物	18,738	19,155	その他	588	615
機械装置及び運搬具	20,026	21,452	負債合計	86,549	84,691
土地	15,538	15,538	純資産の部		
建設仮勘定	5,136	2,393	株主資本	36,742	35,321
その他	837	846	資本金	11,086	11,086
無形固定資産	501	516	資本剰余金	10,750	10,750
投資その他の資産	16,386	15,432	利益剰余金	14,926	13,503
投資有価証券	12,963	11,428	自己株式	△20	△19
繰延税金資産	1,322	1,894	評価・換算差額等	331	△342
その他	2,192	2,201	その他有価証券評価差額金	337	△316
貸倒引当金	△92	△92	繰延ヘッジ損益	△5	△25
資産合計	124,773	120,663	少数株主持分	1,149	993
			純資産合計	38,223	35,972
			負債純資産合計	124,773	120,663

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 2009年4月1日から 2009年9月30日まで	前第2四半期 2008年4月1日から 2008年9月30日まで
売上高	79,185	89,618
売上原価	70,918	81,189
売上総利益	8,267	8,428
販売費及び一般管理費	6,077	6,356
営業利益	2,189	2,072
営業外収益	857	744
営業外費用	468	536
経常利益	2,578	2,279
特別利益	3	6
特別損失	229	326
税引前四半期純利益	2,351	1,959
法人税・住民税及び事業税	470	639
法人税等調整額	56	7
少数株主利益	149	188
四半期純利益	1,674	1,124

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

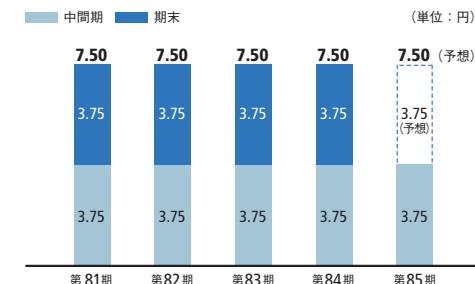
科目	当第2四半期 2009年4月1日から 2009年9月30日まで	前第2四半期 2008年4月1日から 2008年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,023	3,850
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,556	△ 1,926
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,025	△ 2,322
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 8	-
現金及び現金同等物の増減額	483	△ 398
現金及び現金同等物の期首残高	2,791	3,902
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,274	3,503

■利益配分に関する基本方針

当社は、剰余金の配当等会社法第459条第1項各号に定める事項について、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役会の決議により定めることができる旨を定款に定めております。

剰余金の配当につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への安定した配当をおこなうことを基本方針としております。

1株当たり配当金





会社概要 (2009年9月30日現在)

商号 ホッカンホールディングス株式会社
 HOKKAN HOLDINGS LIMITED
 本社 東京都千代田区丸の内二丁目2番2号 丸の内三井ビル
 TEL03-3213-5111
 設立 1950(昭和25)年2月1日(創立 1921(大正10)年10月23日)
 資本金 110億8,652万4,995円
 従業員数 25名
 事業内容 (1)各種空罐、容器の製造販売
 (2)清涼飲料水・酒類その他各種飲料の受託充填及び販売
 (3)各種機械の製造販売
 (4)機械器具設置工事業
 (5)倉庫業
 (6)土木・建築工事の設計、施工請負

役員 (2009年9月30日現在)

取締役社長 (代表取締役)	永井勝己
専務取締役	工藤常史
取締役	田村秀行
取締役	木村修二
取締役	山崎節昌
取締役	池田孝資
常勤監査役	酒井公平
監査役	寺嶋勉
監査役	増田嘉一郎
監査役	新名孝信



株式の状況 (2009年9月30日現在)

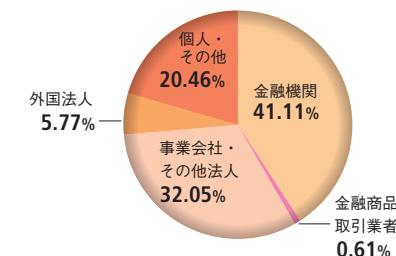
発行可能株式総数…………… 240,000,000 株
 発行済株式の総数…………… 67,346,935 株
 株主数…………… 4,664 名

■大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社トーモク	5,926	8.81
日本生命保険相互会社	3,274	4.87
株式会社みずほコーポレート銀行	3,273	4.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,346	3.49
株式会社メタルワン	2,267	3.37
ホッカンホールディングスグループ取引先持株会	2,026	3.01
農林中央金庫	2,000	2.97
東京海上日動火災保険株式会社	1,805	2.68
株式会社北海道銀行	1,765	2.62
JFEスチール株式会社	1,565	2.33

(注)出資比率は自己株式(57,018株)を控除して計算しております。

■所有者別分布状況



■ホームページのご案内

ホームページアドレス

<http://www.hokkanholdings.co.jp/>

当社のホームページでは株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、当社の事業活動や動向を紹介しております。

当社をよりご理解いただくためにも、是非アクセスしてください。

